

宿毛支所管内より



## 宿毛4Hクラブと青壮年部 幡西ブロックがニノ宮保育所を 招きジャガイモ収穫

9月6日に植え付けをしたジャガイモが実り11月28日、収穫体験を開催しました。ニノ宮保育所の年少から年長さん14人が参加しました。子どもたちは「フライドポテトが好き」や「ポテトサラダ！」と食べたいジャガイモ料理を教えてくださいました。

自分で植えた所に名前や絵を描いたプレート挿して目印にしています。みんなが次々出てくるジャガイモを夢中で掘り収穫を楽しんでいました。

収穫後は、同クラブ会員がフライドポテトを作りました。先生が「おいしい顔～」と言うとみんながにっこり。採れたてのジャガイモを味わいました。

幡多  
地区

から こんにちは  
今月の〇〇 気になる人

幡多地区管内より



## 女性部幡多地区 絵手紙教室開催

令和6年の干支は辰。11月28日の絵手紙教室では「タツノオトシゴ」、「竹」や「南天」などを習いました。女性部員を問わず参加でき、15人が参加しました。

毎回講師をお願いしている夕部眞理先生のお手本を見た後すぐ実践！タツノオトシゴは爪楊枝の先を漬したのを使い描きました。下書きをせずに描くので初めの一筆は緊張します。みなさんは手元に神経を集中させ、みごと世界に1枚のタツノオトシゴ年賀ができました。迫力があつたりかわいらしい仕上がりになったり、個性豊かです。

その後、竹や南天の絵も習い挑戦。先生は描き方やコツをていねいに教えていました。1枚1枚手描きでメッセージも添え気持ちのこもった年賀状。受けとった方は新年早々笑顔になったことと思います。



大月支所管内より



## 大月町の産業祭で演舞を披露 幡多舞人のみなさん

高知市内で開催されている「よさこい祭り」に毎年出場している「幡多舞人」。黒潮町のダンスチームが母体です。幅広い年齢層で、市民祭や地元のイベントなどにも参加し会場を盛り上げてくれます。

この日も、掛け声に士気の高まった踊り子の皆さんが、曲に合わせてエネルギーに舞い演舞を楽しんでいました。見ているこちらまで笑顔になり、元気をもらいました。



大方支所管内より



## 女性部大方支部 料理教室開催

女性部大方支部は11月24日、大学いもの料理教室を開催しました。部員39人が集まり、高橋美千代支部長が火加減やコツを説明しながら実演しました。

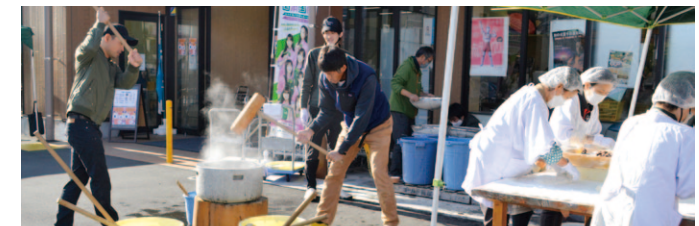
部員の皆さんは2通りの作り方を見て、それぞれ試食。高橋支部長は「各家庭で作り方があると思う。今日の作り方も参考に作ってみてください」と話しました。また、支部の役員があらかじめ焼き肉のたれとポン酢を手作り。部員のみなさんは大学いもと一緒に持ち帰り、「今日教えてもらった作り方は手間がかからない。家で作ってみます」と笑顔で話しました。





# できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



たくさんの来場者で賑わいました。



## 1 中村支所 第3回 中村まつり開催



中村支所は農業祭「中村まつり」を11月23日、JAグリーン四万十店にて開催しました。西土佐のほほ栗、山間屋の洋菓子、苗木即売や打ち刃物、農機・ガス器具屋「コーナ」のほか、青壮年部幡多本部が臼と杵を使って餅をつき女性部幡多地区があんを入れ成形。作りたてのあん餅を無料配布しました。店舗2階では、女性部中村支部がこの日限りの食堂をオープン。メニューはうどん、カレーライス、ちらし寿司。来場の皆さんはゆったりした席で舌鼓を打っていました。さらに、お楽しみ抽選券で豪華賞品を当てるくじ引きも行いました。中村支所直販所組合は空しく

の先着250人に「しまん」と農法米ヒノヒカリ」2合袋のプレゼントをしました。15時からのもち投げでは、たくさんの来場者で中村まつりは盛り上がりを見せました。

同支所佐竹英介支所長は「コロナ禍で休止していた農業祭「中村まつり」を昨年度から再開し、組合員・地域の方々に楽しんで頂くことを心がけ開催しました。おかげさまで、多くの方々に来場いただきありがとうございます。これからも目指していきます。今後もしっかりと「中村まつり」をよろしくお願いいたします」と感謝しました。



精肉、あん餅、ボン菓子どれも大人気でした。



## 2 大月支所 大月町産業祭 JAも 盛り上げました



11月3日は大月町で産業祭が開催されました。同支所ではイベントを盛り上げようと職員総出で参加。町内で唯一の養豚農家「松本養豚場」が育てる地元ブランド肉「力豚」を、バラ・ロース・肩ロース・スペアリブ・ヒレ合わせて430kg分を販売しました。

お肉は販売の2日前に加工した冷凍保存されていない新鮮なもの。お目当ての来場者も多く、昼過ぎころには完売しました。

また、青壮年部幡多ブロックがボン菓子を無料配布。平成11年から続いている活動です。「パーンッ！」と鳴り響く音とともに来場者が集まってきて行列ができるほど。おいしいボン菓子はとても喜ばれていました。さらに、女性部大月支部も力の見せ所。もち米約60kg分を使用しあん餅など、作りたてを販売しました。富岡涼子支部長は「部員みんなが集まってくれて助かります。今年も賑やかな開催でやっぱりいいですね」と笑顔を見せました。

## 3 幡多地区 年金友の会 ゴルフ大会開催



優勝した池田さん。

幡多地区年金友の会は11月14日、四万十市内の「四万十カントリークラブ」にてゴルフ大会を開催。32人が参加しブレイを楽しみました。順位賞のほか、ブービー賞、ドラゴン賞、ニアピン賞などを準備しました。見事優勝したのは四万十市の池田三郎さん。おめでとうございます。

JAで年金をお受け取りの方や指定制約されている方などなたでも参加できます。「家族」「友人などお誘い合わせで皆さまも参加しませんか？ お問い合わせ等、最寄りのJA信用課窓口までお気軽にご連絡ください。

## 5 宿毛支所 「だるま苺」認知度向上へ 現地検討会開催



苗の生育状況を観察する部員の皆さん。

宿毛支所イチゴ部会は11月21日、現地検討会を開き部員のほかJAや市、高知県幡多振興センターや土壌分析を行う生科研 などを参加しました。

同部会は15人が所属しイチゴの品種「さかほのか」をだるま苺とブランド化し出荷しています。部員4人のほ場を回り、今後の管理についてなど確認。同振興センターが厳寒期における温度管理や電照管理などについて説明しました。同部員の酒井輝雅さんは9月21日に定植し生育状態も良くたさん開花していました。酒井さんは天敵の種類や放飼時期シベリン処理の時期を説明。幡多支所農センター山脇辰斗営農指導員は「新聞でもタニが多いとの情報があった。いつも以上に注意し早期発見、早期防除を行ってください」と注意を促しました。

## 4 宿毛支所 令和6年度産に向け 水稻講習会開催



資料を確認しながら説明を聞く生産者の皆さん。

幡多支所農センターは令和6年度の水稲栽培に向けた講習会を開催しました。宿毛支所管内の水稲生産者26人が参加。「水田活用の直接支払交付金」の見直しを受けて、今年知事特認品種となった「よめぎ」「たちばる」から従来栽培されている「イクヒカリ」について、幡多支所農センターの町田さんが栽培歴を使い、肥培管理や病害虫防除対策を説明しました。

町田さんは「低コスト栽培のために鶏糞を利用して化成肥料を減らし、豚糞や牛糞を使って土づくりをと呼びかけました。また、宮部慎也営農指導員が水田雑草の対策について、昨今増えている雑草「ヒレゴボウ」などの除草剤散布のタイミングなどの説明をしました。

## 6 大方支所 黒潮グリーンレモン 次期作に向け現地検討会・反省会



伊藤指導員の剪定を観察する会員の皆さん。

黒潮グリーンレモン研究会は11月17日、本年度の生産に向けて現地検討会と今年度の反省会を開きました。今年度は収量が減った会員もあつたが間伐によるもので想定内とし、出荷量約67tで前年対比97%。販売代金は、昨年比6月、7月の出荷量が大きく上回り、単価も良いことから昨年を上回る結果となりました。

現地検討会では3人のほ場を回り、幡多支所農センター伊藤聖弥営農指導員が次年度に向けた整枝方法について実演しました。会員の目標は出荷ピークを早める事。同会下村昌幸会長は「永年作物なので休ませることが大事。収穫を早めることで、次の作の時期が早まる」と会員らに呼びかけました。



# 初心者（家庭菜園）向け ブロッコリー



## 栽培特性

- 耐暑性、耐寒性ともに高いほうだが、25℃以上では生育が劣り、5℃以下では生育が停止する。
- 保水力のある有機質に富む土壌でよく育つが、湿害に対しては弱く、根腐れや枯死しやすいので、畑の排水をよくする必要がある。特に生育初期から中期にかけて湿害を受けやすい。

●:は種 △:定植 ■:収穫

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
作付け計画			●	△								
	春まき初夏どり栽培											

## ① 育苗床作り

- 育苗期は雨量の多い時期であるため、冠水の恐れのない排水のよいほ場を選ぶ。
- 1㎡当たり完熟堆肥200gと苦土石灰100gをは種の20～30日前までに施用して土壌と良く混和しておき、は種10日前に有機1号ペレットを1㎡当たり280gを施用する。

## ② は種

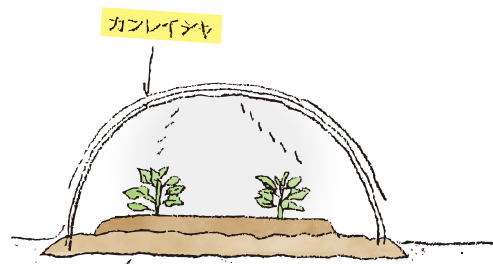
- 種子は1㎡当たり1.2㎡準備し（20ml＝1袋で約16.5㎡分）床面を平に均した後条間12cmに浅い播き溝を切り、厚播きにならないように丁寧に種をして軽く覆土し、乾燥防止の為に稲わら又はモミガラを土の表面が見えなくなるくらい覆って乾燥と昇温を防ぐ。

## ③ 発芽後の管理

- 発芽後早めに稲わら（モミガラはそのまま）を除きカンレイシャをトンネル状に被覆する。（両サイドをすかしておく）
- 本葉1枚の頃混み合っているところの間引きを行う。
- 灌水は土壌表面が白く乾けば灌水するが、育苗全期間は土壌水分は少なめに丈夫な苗を作る。

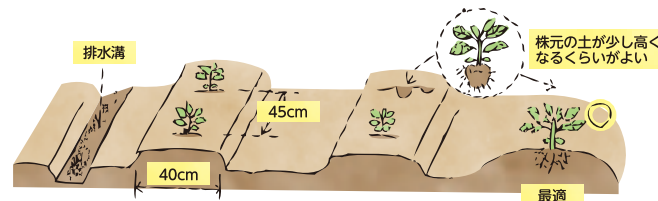
## ④ 本ほの準備

- 前作を早めにかたづけ1㎡当たり苦土石灰大さじ5杯をまいて、20cmくらいの深さに耕しておく。
- 植えつけの2週間くらい前に、元肥溝を埋め戻して畝を作る。  
畝の長さ1m当たり  
堆肥 7～8握り  
油粕 大さじ5杯  
CDU555 大さじ3杯



## ⑤ 定植

- 育苗日数30～35日で本葉5～6枚で植えつける。
- 苗床にたっぷり水を与え、根をたくさんつけて苗を探る。
- 条間は45cmで深植えしすぎないように注意する。



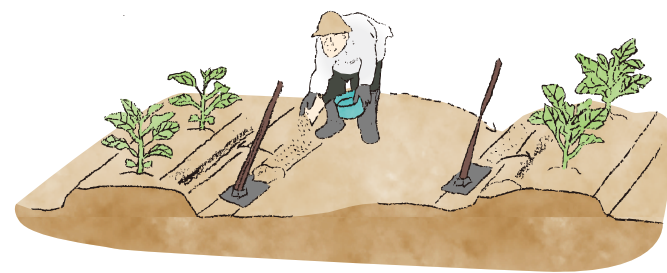
## ⑥ 定植後の管理

### ① 灌水

- 定植後は十分に灌水をして活着を促す。その後も土壌が乾燥すると根の発育が悪くなり、茎葉の発育が阻害され、花蕾の生育にも影響が表れる。このため乾燥が激しいときは畝間に灌水を行い、適正な土壌温度を確保して根の健全な発育を促す。

### ② 追肥と土寄せ

- 第1回目の追肥：定植後20日後早めにCDU555を1株当たり大さじ1/2杯、油粕大さじ1杯を施用する。
- 第2回目の追肥：第1回目の15～20日後、前回と反対側にCDU555を1株あたり大さじ1杯施す。



## ⑦ 収穫

- 花蕾の直径が12～15cmくらいになった頃が収穫適期。茎を15cmほど葉を2～3枚つけて切り取る。

# 役立つ！ 得する！ 情報 えいのう～

幡多農業振興センターより

## クリ成木の低樹高化

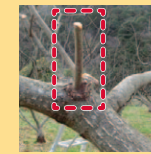
クリは生長が早く、樹が高くなると栽培管理が難しいですが、低樹高化で管理が簡単になります。今回はカットバック※1による低樹高化を紹介します。

※1 カットバックとは樹の大きな枝を切って、樹高を下げること

### 1 カットバックのやり方

- ・必ず結果母枝を残して、地上1.5～2mの高さで大きな枝を切断します。低すぎる位置で切らないこと（低位置からの枝が発生できない）。
- ・切断面は癒合剤等を厚く塗り、保護します。
- ・カットバックする枝は、日の当たる方向の枝を切り、日焼け防止の「日傘枝」を残すか、アルミテープなどで覆います。

日傘枝を残す  
切り方



2010年1月  
日当たりのよい方の枝を切断（ / ）

### 2 カットバック後の管理

この状態から、枝を間引いて2～3本残します。

ここが  
ポイント！

樹が小さくなるので、窒素の施肥量を減らしましょう。



カットバックして1年目の状況

### 3 低樹高の維持

カットバックして13年後の樹です。3年毎を目安に高く伸びた枝を高枝チェンソー等で切り下げて、低樹高の状態を維持しましょう。樹高最高点は5m（夏期）で、ハサミ剪定をする高さが3mくらいまでにできれば充分です（極端な低樹高化は着果が不安定になるので注意）。



2023年7月

◎お問い合わせ先  
幡多農業振興センター 担当 中脇 満枝 (TEL. 0880-34-7070)

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

# みんなのひろば

地域でつなぐ四万十の宝「四万十の栗」を見ながら、栗のおいしさを思い出しました。先日栗がいっぱい乗った「モンブラン」を食べました。とてもおいしかったです。時々、西土佐の道の駅「よつて西土佐」に足を運びます。必ず栗の季節には栗を買って帰ります。栗ご飯も大好きです。

(大方支所管内・69歳)

四万十栗の栽培の苦勞があり、おいしい栗になり、単価も上がり需要も増しているようで何よりです。よつて西土佐に行ったら「栗ようかん」たべましよう。

(三崎支所・73歳)

四万十の栗、おいしそうですね!! 地栗モンブラン「ブルミネー」食べたいな。

(宿毛支所管内・63歳)

▼11月号は西土佐・十和・大正の北幡地域で栽培する四万十の栗の特集をお届けしました。大粒で質の良い栗を作るための1歩踏み出す勇氣や努力を知ることができました。私は去年、栗ご飯作りに挑戦しました。幸せだなあと実感しながらいただきました。

いろいろな料理が紹介されるので楽しみにしています。レシピに添って料理するのもいいですね。

(宿毛支所管内・71歳)

最近食に興味が出てきて、「うちの台所」を参考にして作っています。いつも楽しみにして待っています。

(宿毛支所管内・38歳)

毎号楽しみにしています。うちの台所、いつも料理の参考にさせて頂いています。ありがとうございます。

(宿毛支所管内・40歳)

▼11月号は女性部十和支部による「かきあげ」をご紹介しました。私自身、いつも同じ材料でさらにカラッと揚がらず食卓に。鼻息も荒く取材に行ったのですが、「季節のお野菜を何でも入れる。旬の時期にはリュウキュウも入れますよ」と教えて頂き驚きました。初めて「かきあげ」らしい「かきあげ」を作ることができありがたい限りです。

寒くなりました。秋とびこして冬になった感じがです。白菜がとれはじめ、鍋物に大活やく。あたたまっております。

(佐賀支所管内・67歳)

▼鍋がおいしい季節ですね。やっぱり鍋には白菜。私も大好きな野菜の一つです。鍋は水炊き、ちゃんこ、キムチなどを主に作ります。皆さんはどんな鍋料理を作りますか？

10月の雨のない暑い時と、うって変わって急に冬のおとずれが来ました。畑作業もひとぎりだったので、障子の張り替えやスイーツ作りもできる様になりました。ゆずの Pasta やうちの台所などいつも勉強にさせてもらっています。やはり地産地消が一番ですヨネ。

(西土佐支所管内・66歳)

▼地元の食材を使ったお料理はこれからもずっと、身近な存在であってほしい。地野菜をこれからもどんどん消費していこうと思います。



## 女性部中村支部の活動をご紹介します

女性部中村支部は年に10回、フラワーアレンジメント教室を開催しています。講師をお願いしているのは四万十市内の『双葉園』梅原薫さん。20年以上続く女性部の活動です。11月29日は、クリスマスリース作り。使用したのは「金木ヤナギ」、「黄金ヒバ」、「ブルーアイス」、「モミ」、「綿花」、「カラ松」、「松ぼっくり」、「シナモン」、赤い実の「サンキライ」など。参加した7人の中には当初から通う方も。みなさんリースの土台から作りましたがさすがです。ステキなリースが出来上がりました。

